

第3回 定例会

平成26年度決算認定

教育・福祉分野が

さらに充実

反対討論

小池春雄 議員

ゴミ収集運搬費の指名競争入札から随意契約になると、なぜ金額が大きく変わってしまうのか、また防災公園に係わる事業費について、年度の途中で予算執行の進捗状況の説明が議会に対してないなど、町民の納得いく決算ではないと考
え反対します。

賛成討論

五十嵐善一 議員

経常収支比率は、年少人口増加にともない扶助費が増したため前年より上昇。また新築住宅・大型商業施設の進出により、町税収入は増加し続けています。安全・安心なまち、住み良い子育てしやすいまちといった観点から審査を行った結果、本決算を認定することに賛成します。

賛成14反対1で認定

平成27年第3回定例会は、9月4日から18日まで、15日間の会期で行いました。今定例会では、平成26年度決算認定をはじめ平成27年度補正予算など21議案・報告1件・同意1件・諮問3件・請願2件が提案され、議案・報告・同意・諮問について原案どおり可決しましたが、請願2件は不採択としました。

一般会計

町税6911万円の増額

平成26年度一般会計歳入
決算額は、62億4108万
円で前年度比94・6割、歳
出決算額は、61億2267
万円で前年度比97・4割で
した。

額、地方交付税は、12億1
96万円で前年度比96・2
割、4807万円の減額で
した。町税の収納未済額は、
1億5229万円で前年度
比90・8割、1534万円
減額になりました。

児童手当4億657万円、
澁川広域負担金（消防救急
など）2億4439万円、
南下城山防災公園用地買収
費および補償費1億605
3万円などです。

歳入歳出差引額は1億1
841万円で、歳入歳出差
引額から翌年度へ繰り越す
べき財源を引いた実質収支
額は5731万円でした。

歳入

入

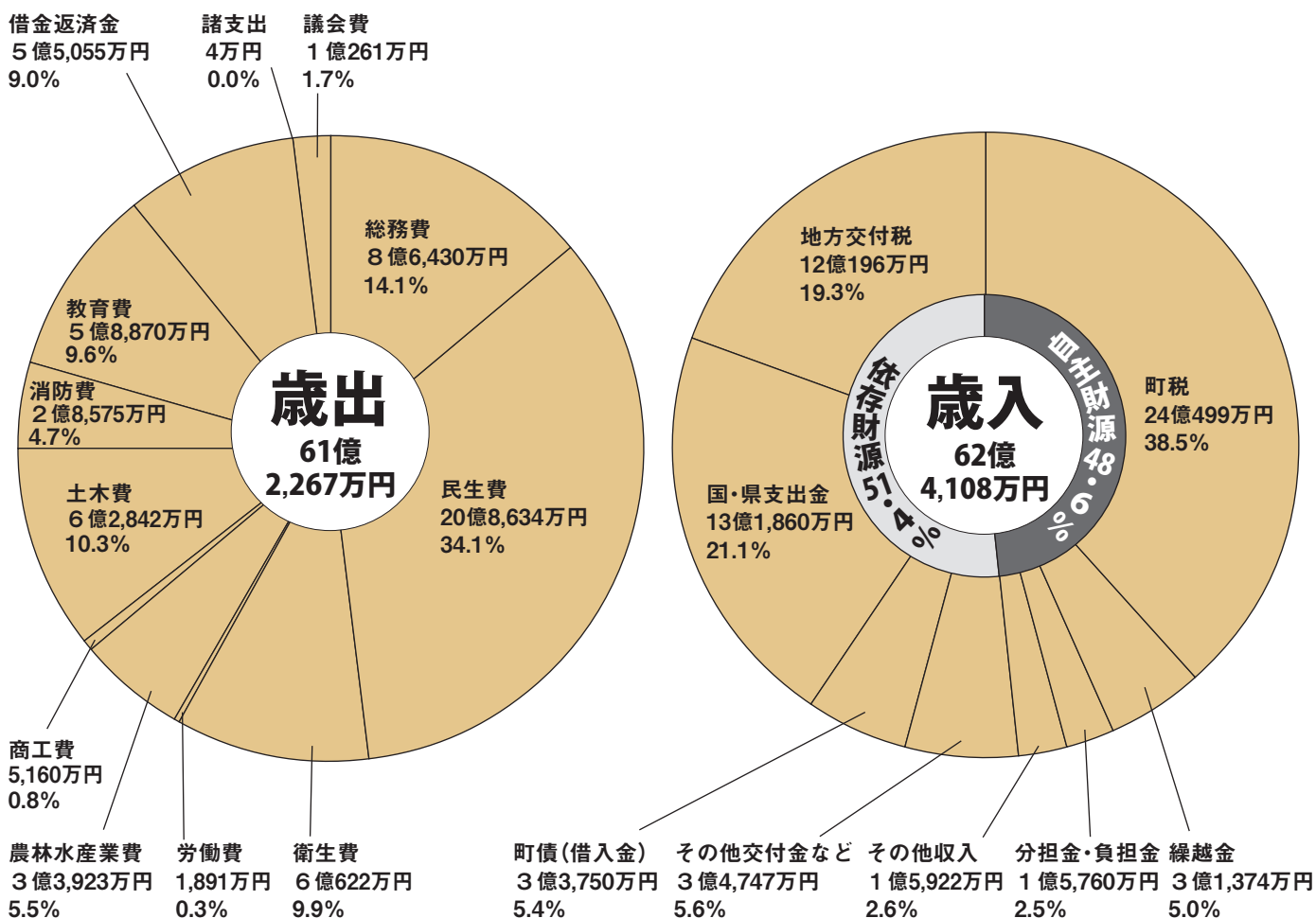
主な歳入は、町税24億4
99万円で前年度比10
3割、6911万円の増

歳出

出

主な歳出は、保育所運営
委託料5億2215万円、

<一般会計決算の内訳>



まちの借金

総額

96億9,616万円

一般会計	50億5,328万円
公共下水道事業	20億6,595万円
農業集落排水事業	12億 348万円
住宅新築資金等貸付事業	403万円
水道事業	13億6,942万円

前年度比
96.0%

町民一人あたり

47万円

まちの貯金

総額

37億7,865万円

前年度比	103.6%
------	--------

町民一人あたり

18万円

(平成27年3月31日現在20,531人)